

安達高等学校創立100周年記念式典開催

10月28日（土）二本松市民会館において、創立100周年記念式典が在校生、同窓生や学校関係者など約700名が出席し開催されました。

伊藤勝宏校長が「地域と共に生きる学校に」と式辞を述べ、五輪美智子記念事業実行委員長が「百周年記念事業にご協力頂いた皆様に心より御礼申し上げます」と感謝のあいさつがありました。



式典終了後、百周年に合わせて制作されたスライドショー「安達高校百年の歩み」が上映され、母校の歴史と伝統を振り返り、未来へつなぐ節目となりました。

◇ スライドショーはYouTube「安達高校百年の歩み」でご覧になれます ◇

記念講演会開催

記念式典に続いて、100周年記念講演会を同窓生で国際医療福祉大学教授・副大学院長の福井トシ子氏（昭和51年定卒）による『人生100年時代によりそう』と題し開催されました。

日本看護協会長を務めた福井氏は、人生の選択肢が多様化する時代において、「生産性・活力・変身などの無形資産を持ち、自己理解を深め、人間性や生き方を磨くことが重要となる」と、これまでの経験や現在の取り組みを交えて語りました。

講演後は、生徒や卒業生からの真剣な質問に熱心に答え、百周年にふさわしい充実した講演会でした。



記念祝賀会開催

記念祝賀会は、記念式典と講演会終了後、二本松御苑において、176名が出席し盛大に開催されました。

同窓生鹿又寒太郎さん（平成22年卒）本多裕子さん（平成12年卒）による生演奏、山本秀美さん（昭和44年卒）制作母校の映像上映の余興を楽しみ、歓談が盛り上がり、元応援団長杉内清吉さん（昭和49年卒）による勇壮なリードで校歌と凱歌を熱唱し、母校の発展にエールを送りました。

